令和4年度 苦情解決一覧

養護老人ホーム滴翠苑			
No.	苦情内容	対応内容	承諾内容
1	同室者と見たいテレビが違い困って	4 人部屋なので、もう一台設置可能なため設置す	テレビを設置したことで、承諾いただきまし
	いる。居室にもう一台設置できるので	ることで対応する。	<i>t</i> =.
	設置してほしい。		
2	同室者に自分のコーヒーを勝手に飲	同室者に人の物を勝手に飲んだり、触ったりして	決まり事を本人に伝えて、様子を見ていくこと
	まれてしまう。コーヒーをコーナーで	はいけないと注意する。分かったと話すが、再度	で、承諾いただきました。
	預かってほしい。	繰り返しそうなので、コーヒーを預かることにす	
		る。	
3	Mさんが廊下でDVDプレーヤーを時間	Mさんと話し合いを実施。	決まり事を本人に伝えて、様子を見ていくこと
	に関係なく大きな音量で聞いている	時間を決めて音楽を聴くようにする。	で、承諾いただきました。
	のでうるさい。	音量もあまり大きくしないと約束する。	
4	同室者が夜間トイレ等に行くとき、自	同室者は簡易ベッドなため、捕まる所がなく、本	居室替えをすることで、承諾いただきました。
	分のベッドを掴んで立ち上がるので、	人のベッドを掴んでしまっていた。居室替えで対	
	目が覚めてしまう。	応することとなる。	

救護	救護施設慈翠舘			
No.	苦情内容	対応内容	承諾内容	
1	利用者Aさんから嫌がらせを受けて	苦情が挙がった利用者へ聞き取りを行う。「ある	Aさんと話をし、本人に理解してもらったこと	
	いる。	特定の利用者から暴力はないものの、強い口調で	を伝える。	
	私が杖を使っていることに対して小	詰め寄られたこともあり怖い。」と話していた。	その後は、嫌がらせを受ける事は無くなった。	
	言を言われる。不満があるようだが、	利用者Aさんへ対象となる利用者の身体的状況		
	私は杖が無いと生活できない。	などを職員から説明したうえ、杖が無いと生活が		
		困難である状況を話す。		
		Aさんは対象者が、杖がないと生活出来ないとい		
		う状況を理解できなかったため、強い口調で言い		
		寄ってしまったと話していた。状況が理解できた		
		ため、今後はそのような言動はしないと約束す		
		a .		
2	特定の職員の口調が強くて怖い	名前の挙がった職員への聞き取りと指導を行う。	その後は、言動が改められたと報告を受ける。	
		自分に余裕がない時に強い態度が出てしまう事	定期的に会議等で虐待をテーマに議論する機	
		があると話していた。	会を設定している。	
		一人で抱え込まず、周りの職員にも協力を得なが		
		ら仕事に取り組んでほしいこと、利用者目線での		
		処遇を心がけるよう指導する。		
3	おやつを増やしてほしい。	年に2回(4月、10月)実施している健康診断の	医師から詳しい説明を受けたことで納得して	
		結果をもとに、嘱託医や専門医に相談する。	いただいた。	

4	トイレを汚したり、間違った使い方を	状況を確認する。	トイレを汚してしまった時にはナースコール
	する人がいて困る。	排便時に上手く便器内に収まらず汚してしまっ	で職員を呼べるようになった。
		たり、トイレットペーパーを必要以上に使って詰	また、トイレが詰まるような状況は改善され
		まらせてしまうことがあった。	<i>t</i> =.
		朝礼等で利用者全体に対してトイレの使用法を	
		説明。汚してしまった時には掃除をしてほしいこ	
		と、自分で掃除することが困難なときには職員を	
		呼んでほしいと話す。	
		また、誤った使い方をするとトイレが壊れてしま	
		い、生活に支障がでてしまうため、正しい使い方	
		をするよう伝える。	

特別養護老人ホーム明翠苑				
No.	苦情内容	対応内容	承諾内容	
1	苦情なし			

老人デイサービスセンター華翠会舘				
No.	苦情内容	対応内容	承諾内容	
1	カバンを車内の床に置かれた。	その日は利用者数が多い事から荷物が多く、Aさ	説明を受け、本人に納得していただいた。	
		んのカバンは大きいため、カバンを置く場所に置		
		くことができず、その為Aさんの座席の脇の床に		
		カバンを置いた。わざと置いたわけではないこと		
		を説明し謝罪する。		

おやつ時に食べた菓子袋がなく、本人 その方は認知症から思い込みがあるが、やめる必 説明した事に本人納得され、通常通り利用をす た。その際、持ち帰ることは禁止なのしれてしまうと理解される。 で食べないのであればそのまま置い ておくよう説明する。(以前にも説明 済み) 帰宅後「俺は泥棒をしてしまっ たからデイには行けないのでやめま す」と電話がある。家族はデイに行か なくなると困るとの事。

に確認した所、食べたと言っていた│要はない事を説明する。ご家族にもその時の状況│る。 が、食べずにポケットにしまってあっ│を説明すると、「認知症だから・・・」と直ぐに忘

明翠苑居宅介護支援センター			
No.	苦情内容	対応内容	承諾内容
1	利用者ご家族より。小規模多機能サー	通所/訪問/宿泊をバランスよく実施する他の	他事業所に変更になる直前に骨折し、現在医療
	ビスを利用しているが、宿泊サービス	小規模多機能事業所を調査。	機関入院し加療中である。
	のみが続いていて、自宅にいる時間も	家族にその事業所を紹介し、事業所を替えること	
	調整してほしいが対応してくれない。	を提案した。	
	どうしたら良いかとの相談。		